



小岩井

小岩井乳業株式会社

Splashtop Business 導入事例 インタビュー

事業戦略部 鎌田 出 様



## Q. どのような目的で Splashtopを導入したのですか？

導入目的は、きっかけとしては、営業社員のワークスタイル変革というテーマは弊社にありまして、営業活動時間をもっと増やしていこう、っていうところがきっかけですね、一つは。そんな中で、会社に戻ってこなくても、時間とか場所を選ばないで、自分のパソコンの中で、会社のシステムをチェック出来るっていうところですね。

## Q. Splashtop導入の経緯

元々ですね、弊社2010年からSSLVPNを使って会社のPCに対してリモートアクセスできる仕組みを持っております。その時の目的っていうのが、新型インフルエンザのパンデミック対応という形で導入したものだっただけなんです。そういう目的ですので、もともとそのユーザーは限られてて全社員にっていうものじゃなかったんですが、その後ですね、東日本大震災の時に、2011年ですけども、なかなか通勤とかが思うように、電車も走ってなくて、通勤できないような環境になったかと思うんですけども、その時にユーザー数が増えまして、そこからですね、こういった使い方というもの非常に自分たちにとって有効であるという事が社員の皆さんもわかった、理解できたというところから広まったというような形です。

## Q. Splashtopを導入後の効果について

2010年から導入したシステムよりも今回導入させていただいたSplashtopが非常に安定性も操作性も高いという事で、以前ですとちょっと使いづらいような、たとえばキーの配列とか、接続性についても突然落ちてしまったりとか、そう

いったことが当然あったわけなんですけれどもSplashtopにしてから非常に安定しているという事と、マウスの操作が画面上でできるという事で、社内のユーザーの数も広がっていったという事はありますね。

## Q. 実際にどのようにSplashtopを利用して課題解決をしたか？

そうですね、一つはタブレットを持った営業の社員ですね。それとあとは内勤の者でも自宅のPCから会社のPCにアクセスするといった使われ方もしています。

どうしても外回りの時間を増やしたいという事もあってですね、会社に戻ってこなくてもたとえばワークフローとかそういうものが使えるようにという事で。一つはタブレットでも使えるというワークフローというものを導入するという手もあるんですが、まずは既存の物を使うっていう事であれば、外から自分のパソコンに入ってきて、その中で社内システムを見て使えるというような環境ですね。それによって、外回りをしてわざわざ会社まで戻ってきて、それからまた事後処理をするという必要はなくなりますので、そういったところでも役立っているんじゃないかなと思いますし、あと弊社の場合日配品を取り扱っている関係もあって、対流通さんですね、流通業さんは当然365日土日も稼働していますので、そういった中で日曜とか祭日のトキに流通さんの方から確認とか問い合わせとかそういったものが直接営業社員の方に入った時にわざわざ会社まで行ってとか、会社のパソコンそのものを持ち運ぶとかしないでそういった課題を解決できるっていう事ですね。そういったところでも大きく貢献しているかなと思いますけれども。

まだまだうちの中でも、たとえば物流部門に対して緊急の出荷の依頼とかそういったものを出すには、社内の仕組

みを使わないとできないような状況もありますので、ですからそういった意味でこのSplashtopを使って自分のパソコンに入ってきて、社内と同じような仕事を出来るというのは非常に有効かと思えますけど。

お取引様へのサービスを維持するという意味では最終的にお客様につながる話かなとおもっていますので。

## Q. 内勤の人達は、どのように Splashtop を利用しているか？

主にウィンドウズ系のパソコンが多いです。ウィンドウズPCもOSが様々ありまして、ご自宅のパソコンですので、かなり古いOSから、Vistaとかそういったところから実際にはありませんけれども。あとそのほかにMACのユーザー様もいらっしやいまして、今回そのSplashtopそのものがMacの方もサポートされているという事で、大変重宝させていただいています。

どうしてもたとえば会議の資料とかで会社でやりきれなかった部分とか、あと家の用事があるどうしても戻らなくちゃいけない、帰らなくちゃいけないと行った時に、家の中で空き時間を見つけてアクセスしてそういった資料を作るとかという事ですね。ただ、そういった意味で労務管理の部分とかっていう事もきっちりルールを決めてやらないと、だらだら家で仕事されても困りますので、そこら辺は社内のルールをきっちり決めて運用させていただいています。

## Q. タブレットから社内イントラを、どのように操作しているか。

見ての通り、非常に接続性もいいので、つなげる手間があまりないですね。

これが弊社小岩井乳業のポータルサイトになるんですけども、こういったところからですね、全社掲示板の最新の情報とかそういったものが、タブレット上で見れます。この場合、昨日の夕方出してるものなんですけれども、これはマルウェアを含んだウイルスメールが届き始めてるんで気を付けてくださいね、というような内容ですけれども。こういった掲示されているものがこんな形で見れます。

## Q. どうして営業日報を入れる率が高くなったのか？

今のところ営業日報とかがまだ外部からアクセスできる対応を取っていないものですから、全部この社内の中で、社内のパソコンを経由して使う形になりますので、特に営業の方は最近Splashtopに代わってから、営業日報で報告する率が高くなりました。件数が多くなりました。前使っていた仕組みですと操作性が悪くてあまり使っただけなかったというのがあるんですけども、これになってからは殆どの営業社員が日報を入れている。しかも入れる率が高くなったというのは、会社に戻ってこなくてもやれるようになったってことですね。そういったところも寄与しているかなと。

実はうちの日報っていうのはスケジューラーにみたいになってて、スケジューラー中に日報の中身が入っているという仕掛けなんですね。

## Q. タブレットで使用している回線について

完全にイントラの中にオンプレミスで立っている仕組みですので、VPNで入ってこないと見れない仕組みですね。

Splashtop経由で見ているという。

これ自身はキャリアさんの回線を使っています。

● このインタビュー内容は、スプラッシュトップホームページから動画でご覧いただけます。

無料トライアルのお申し込みは下記サイトに  
アクセスしてお申し込みください。

スプラッシュトップ

検索

<http://www.splashtop.co.jp>